

第12回 那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会

令和元年度の工事内容等

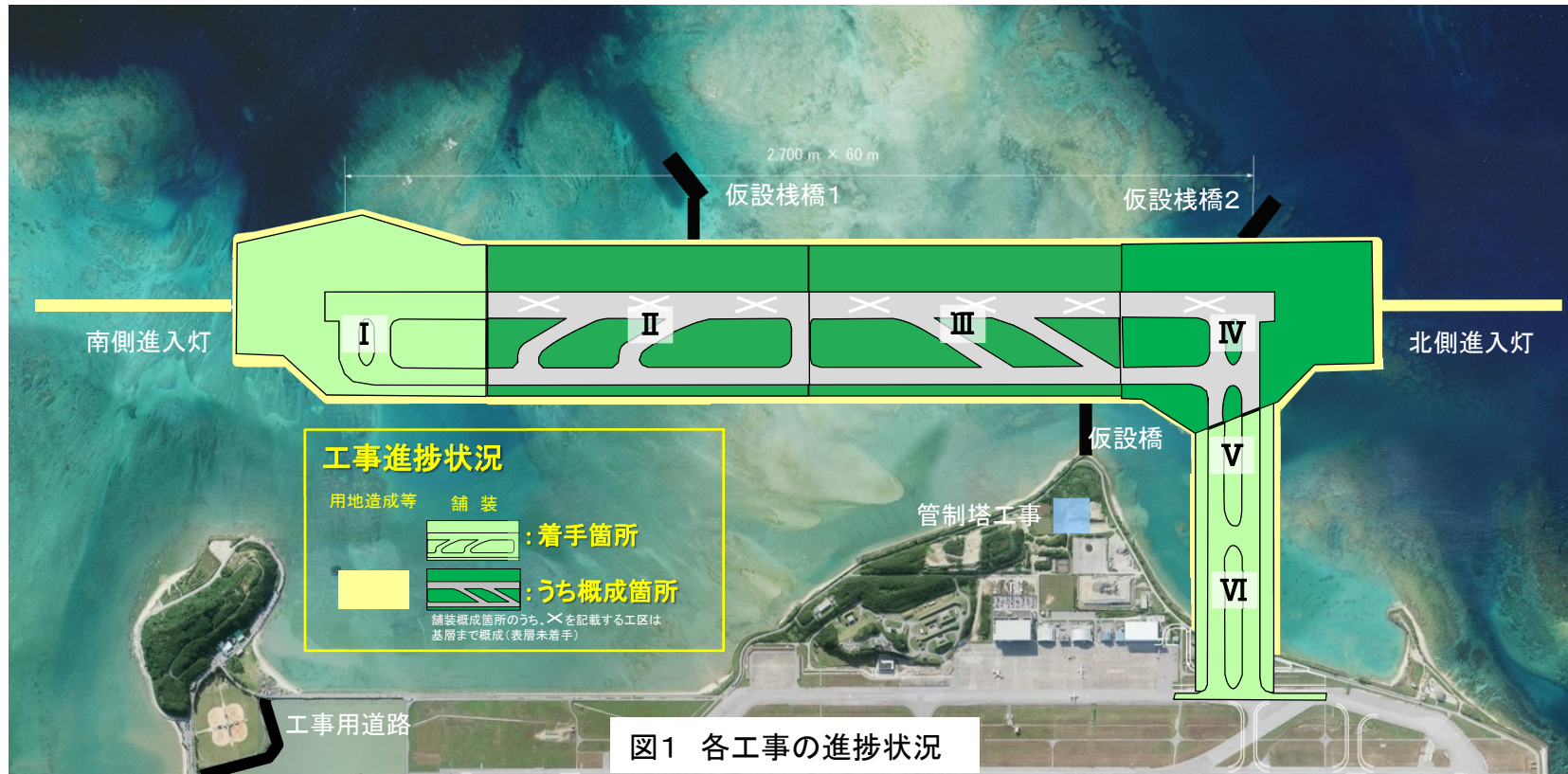
令和元年6月28日
内閣府沖縄総合事務局
国土交通省大阪航空局

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 各工事進捗状況と令和元年度の工事内容 | 1 |
| 2. 各工事の実施状況 | 2 |
| 2.1 汚濁防止膜の設置位置 | 2 |
| 2.2 埋立工事 | 3 |
| 2.3 舗装工事 | 4 |
| 2.4 その他空港施設工事等 | 5 |
| 3. 那覇空港の滑走路発着回数拡大について | 6 |

1. 各工事進捗状況と令和元年の工事内容

令和元年6月時点



| | 主な工事範囲 | 平成31年 | 令和元年 | | | | | | | | | | 令和2年 | | | |
|------------|--------------------|-------|------|---|---|---|---|----|----|----|---|---|------|--|--|--|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 撤去工事等 | 仮設栈橋1・2、仮設橋等の仮設構造物 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 舗装工事 | I～VI工区 | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他空港施設工事等 | 管制塔、灯火施設、無線施設等 | | | | | | | | | | | | | | | |

2. 各工事の実施状況

2.1 汚濁防止膜の設置位置

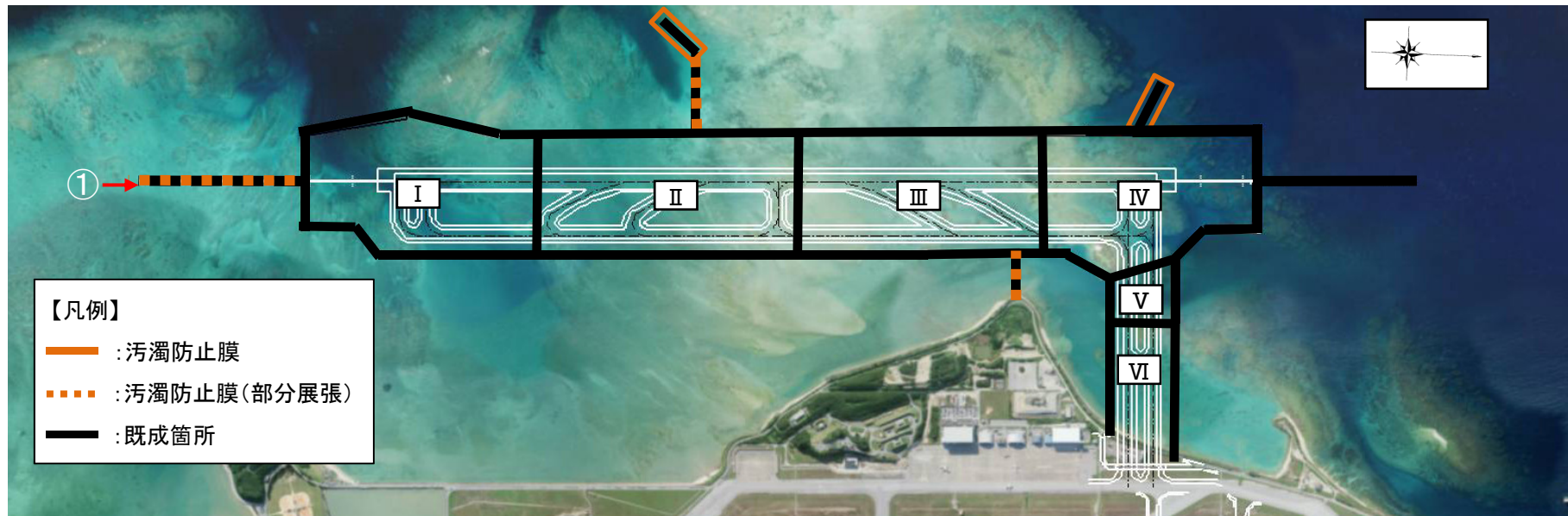


図2 汚濁防止膜の設置位置



①【南側進入灯作業構台】杭引抜作業
(令和元年5月撮影)

2.2 埋立工事

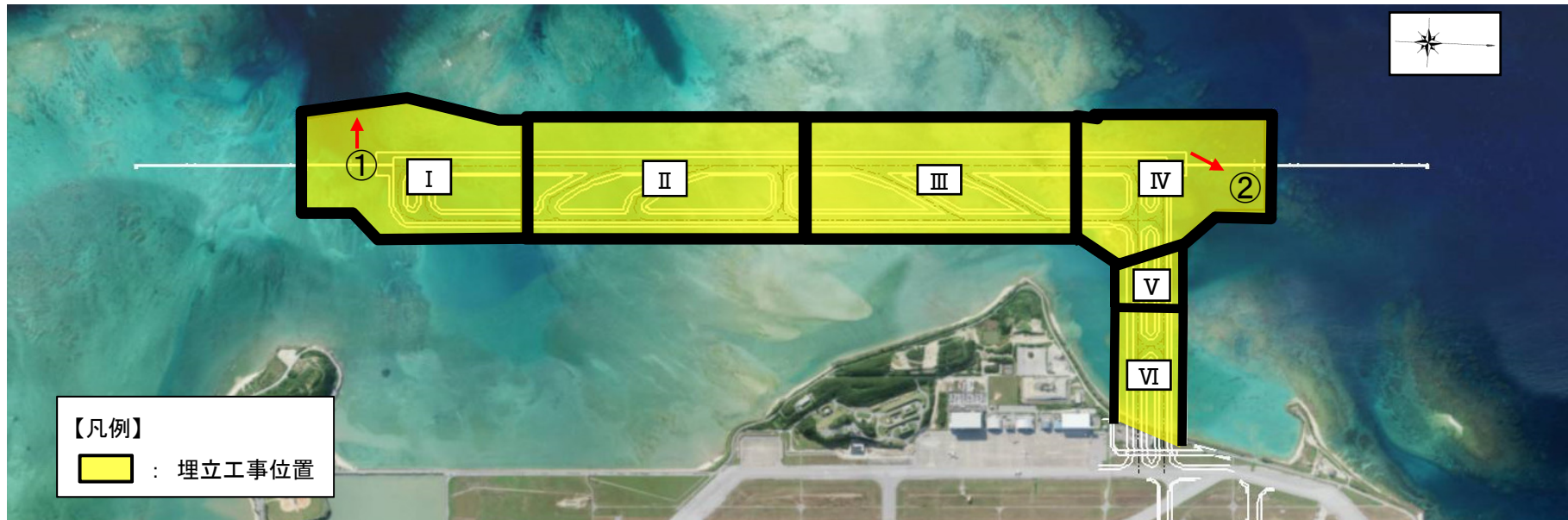


図3 埋立工事の実施位置



① 【I工区】転圧状況
(平成31年2月撮影)



② 【IV工区】転圧状況
(平成31年3月撮影)

2.3 舗装工事

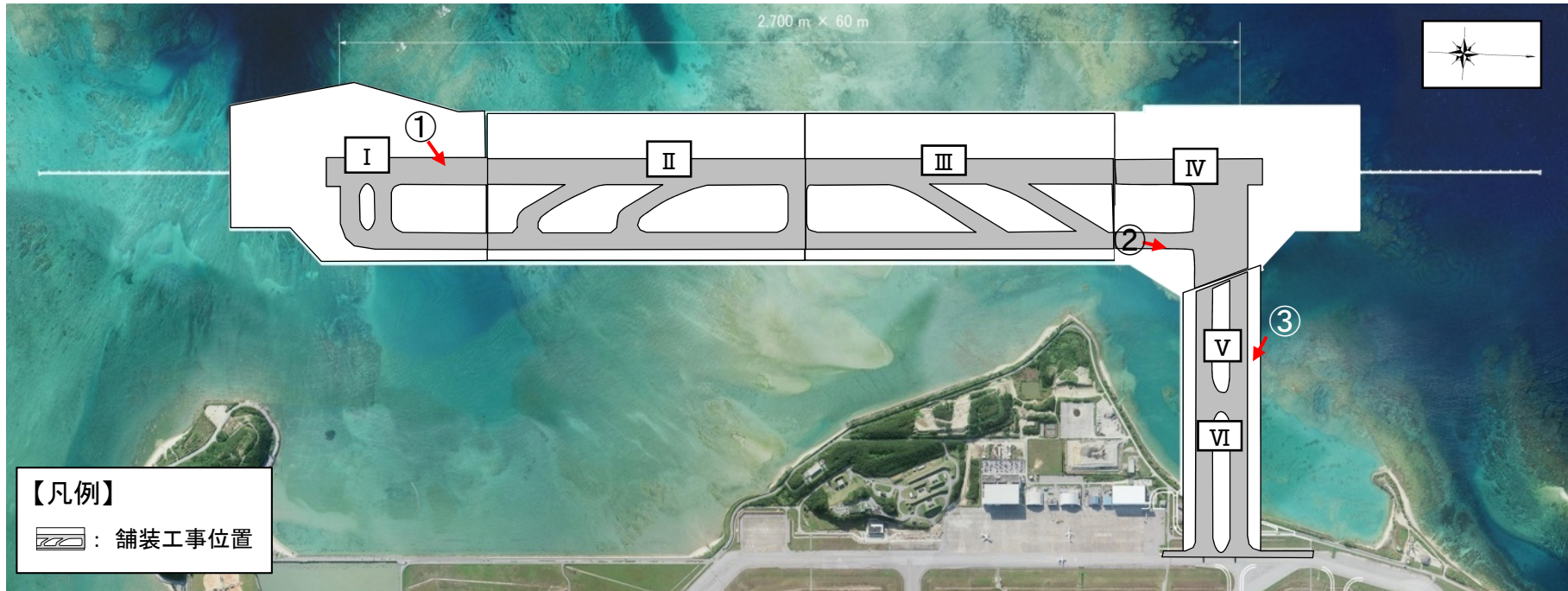


図4 舗装工事の実施位置



① 【I工区】下層路盤敷設状況
(令和元年5月撮影)



② 【IV工区】基層敷設・転圧状況
(令和元年5月撮影)



③ 【V・VI工区】下層路盤敷設・転圧状況
(平成31年4月撮影)

2.4 その他空港施設工事等



図5 その他空港施設工事等の実施位置



① 南側進入灯工事 桁架設状況
(平成31年4月撮影)



② 北側進入灯工事 桁架設状況
(平成31年4月撮影)



③ 管制塔工事 施工状況
(平成31年4月撮影)

那覇空港の滑走路発着回数の拡大について

1. 背景

- 那覇空港の利用者数は年々増加しており、これに伴い、発着回数も16.6万回に達しているところ。
- 今後も予想される訪日外国人旅行者数や沖縄県入域観光客数の増加に対応するため、滑走路増設後の発着回数の拡大を検討。

2. 発着回数の拡大

- 騒音影響を考慮しつつ、運用方式を見直し、2本の滑走路を最大限活用することにより、年間発着回数を24万回※まで拡大可能。

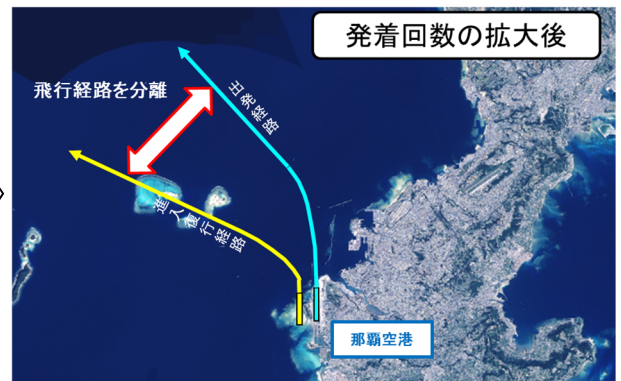
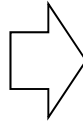
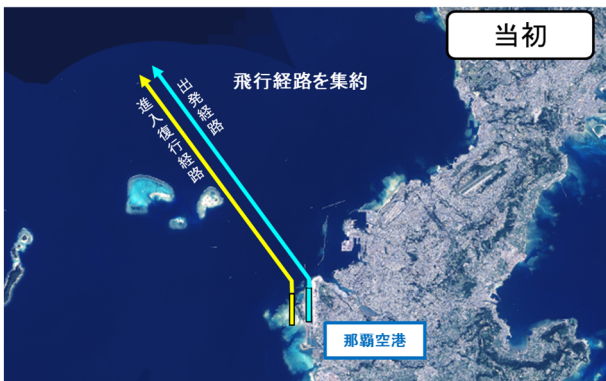
※年間を通じて安定的に運用できる発着回数（自衛隊機を含む）

【当初】現状（滑走路1本）約13.5万回/年 → 滑走路増設後 約18.5万回/年

【発着回数の拡大】現状（滑走路1本）約13.5万回/年 → 滑走路増設後 約24万回/年

【内容】

- ・現滑走路の飛行経路（離陸経路）と増設滑走路の飛行経路（進入復行経路）を分離することで、離着陸の間隔が短縮でき、発着回数が拡大。

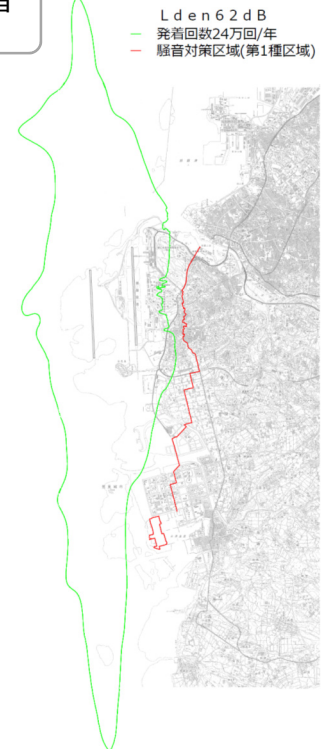


空中写真出典：地理院地図（電子国土Web）

3. 発着回数拡大に伴う環境影響の予測と評価

- 発着回数を24万回とした場合の航空機騒音について、以下の前提の下検討した。
 - ・現滑走路を離陸優先、増設滑走路を着陸優先として使用。
 - ・航空機騒音を考慮し、夜間貨物便などは離着陸ともに増設滑走路の使用を促進。
- 発着回数を24万回とした場合の航空機騒音の予測結果（Lden）は右図のとおりであり、現状の騒音対策区域より内側に収まる結果となった。
- これにより、発着回数が拡大した場合も、現況に比べて周辺環境への影響を悪化させないことが可能であることが示された。
- 今後、滑走路増設後の運航状況を踏まえ、航空機騒音調査について、地元と調整しながら検討する。

航空機騒音予測結果



※ Ldenとは、昼間、夕方、夜間の時間帯別に重みをつけて求めた、変動する騒音レベルをエネルギー的な平均値として表した量を言います。

地図出典：国土地理院（基盤地図情報データ）